



JPNG



NPO Japan-Papua New Guinea Association

第17回 Toktok会

主催：特定非営利活動法人 日本・パプアニューギニア協会

パプアニューギニアの開発の将来

ー開発政策・財務の動向とマラペ新政権を迎えてー

大野 政義 (おおの まさよし) 氏



講師略歴

1962年東京都中野区生まれ。

名古屋大学大学院国際開発研究学科卒 開発計画・マネジメント修士

1984年にパプアニューギニアに青年海外協力隊ボランティアで赴任したのを機に93年まで滞在、95年に再赴任、大蔵計画省（当時）に開発計画アドバイザーとして4年間活動。

その後、ガーナ、フィジー、ルワンダ、ツバル、マレーシア、ザンビア等でアドバイザー、技術協力プロジェクトチーフアドバイザー等として活動、国際協力機構本部大洋州課での勤務を経て、2017年に国家計画モニタリング省および財務省のアドバイザーとしてパプアニューギニアに再赴任、活動中。

講演主旨

2011年以来8年間続いたオニール政権が倒れ、マラペ政権が誕生したパプアニューギニア。2014年のLNG輸出を皮切りに、輸出経済構造も大きく変わり、国家予算も急膨張する中、中国やインド等、新しい新興ドナーの進出も顕著になる中、拡大財政政策の中、債務も急増、マクロ経済運営の不安定さが、様々な開発指標の動向に顕在化するようになってきている。2017年9月に18年ぶりに当国の中央政府官庁に再赴任し、オニール旧政権下での中期開発計画策定や予算編成、債務管理にかかわる中、マラペ新政権が掲げる「Take Back PNG, The Richest Black Christian Nation」のスローガンの下、PNGの開発はどこに向かうのか、課題を抽出しながら、日本の協力の方向性にも言及しながら、今後の開発動向を考えてみたいと思います。

令和元年 9月25日(水)

場所 霞山会館

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 37階

TEL：03-3581-0401（代表）

虎ノ門駅 11番出口 徒歩1分（エレベーターで37階）

懇親会会場：同37階 ピオニーレストラン（立食）

受付開始 18:00 開会 18:30 懇親会 19:45 から

参加費（当日会場にて承ります）

【講演会 & 懇親会】 会員：3,000円 非会員：6,000円

（当日、会員になって頂いた方 参加費+年会費：9,000円）



ボランティア募集

Toktok会担当委員は、当会の運営にあたり皆様のボランティア参加を求めています。お問い合わせは担当理事 原まで。原 晃 Email: a.hara@jpgn.or.jp

お申し込み

当協会事務局

E-mail: info@jpgn.or.jp

TEL: 03-5216-3555 FAX: 03-5216-3556

FAXでのお申し込みは裏面をご利用ください。